

現場での生活

横浜海上保安部

巡視船ひりゆう航海士補



— 現在の仕事の内容はどのようなことですか？ —

私が所属している横浜海上保安部巡視船「ひりゆう」では、消防船ということもあり、船舶火災やコンビナートの火災に備え、常に万全の出動態勢を維持するとともに、日々各種災害対応訓練を行っています。訓練は、主として救急・消防・レンジャー訓練があり、内容としては狭い区画内から救助者の吊り上げ訓練や消火ホースを用いて行う消火訓練等を行っています。訓練計画は若い人が計画を起案するので、考える力が養われます。



また、災害対応業務のほか、船舶の立入検査や航路しょう戒といった警備救難業務に従事するなど多種多様の業務を行っています。

— 海上保安庁に入った動機やきっかけは何でしたか？ —

学校で公務員のパンフレットを見た時に、海上保安庁を知り、そこから仕事の内容について興味を持つようになりました。特に、私は、海上環境について興味を持ち、この仕事に携わってみたいと思いました。

— 海上保安庁に入って、印象に残っていることは何ですか？ —

海上保安庁に入って、印象に残っていることは上司からの言葉で「自分の考えを持って」と言われ、喝を入れられ、その言葉をかけてもらった後は、何事においても自分の考えを持つようになり、今に至っています。まだまだ、これから困難があるかもしれないですが、まず、考えてから行動したいと思っています。

— これから海上保安庁を希望する人達に一言 —

海上保安庁に入ろうか悩んでいる人は、間違いなく入ったほうが良いと思います。多くの業務があり、いろいろな経験ができるので自分にあった仕事が見つかると思います。